

(1) 2018(平成30)年11月21日発行

国際ロータリー 第2500地区 第4分区

# 遠軽ロータリークラブ

## 第2897回 通常例会記録

日時：2018年11月15日(木)12:30～

会場：ホテルサンシャイン 2F

司会：日野 邦彦 副SAA③

★開会点鐘：遠藤 利秀 会長

★国歌： -

★Rソング：それどこそロータリー

★四つのテスト： -



インスピレーションに

なろう

2018-19 RIテーマ

<ロータリー財団月間>

# 2018～2019 Weekly Report No.18

THE ROTARY CLUB OF ENGARU, AREA 4, RID2500

本日のプログラム

2018年11月21日(水) 18:00～

2クラブ合同例会

湧別町中湧別中町 チューリップの湯

次回のプログラム

2018年11月29日(木) 12:30～

会員卓話：伊藤 幸雄 君

プログラム委員会

## 遠藤利秀会長ターゲット：共に汗をかいて感動を～一流を目指し～

### 会長報告 遠藤 利秀 会長①

今月は「ロータリー財団月間」です。今日はロータリー財団についておさらいしてみたいと思います。

ロータリー財団は1917年に6人目のRI会長アーチ・クランフが創設しました。ロータリーが基金を作って世界規模で慈善・教育・平和などの分野で「世界で良いことをしよう」と提案し、1928年の国際大会でこの基金はロータリー財団と命名されました。財団プログラムの変遷をみると1947年、財団初のプログラム「高等教育のためのフェローシップ」を開始。これが後に「国際親善奨学金」になりました。

1965～1966年には「研究グループ交換」「技術研修のための補助金」「ロータリー財団の目的を果たす活動のための補助金」後のマッチング・グラントを開始。1978年に「保健・飢餓追放・人間性尊重補助金プログラム」を開始。人間性尊重補助金のプロジェクト第一号としてフィリピンの600万人の子供たちにポリオの予防接種を実施しました。1985年に全世界でポリオ撲滅を目指す「ポリオプラス・プログラム」を設置。

2013年には世界中のロータリアンがグローバルなニーズの応えられるよう新しい補助金モデル(地区補助金、グローバル補助金、パッケージグラント)を導入。そして現在、ロータリー財団は10億ドル以上の寄付を受ける大きな財団に成長しました。

2013年7月より「未来の夢計画」によりロータリー財団プログラムは大きく変更されました。・プログラムと運営の簡素化・世界の優先的ニーズに取り組み最大の効果が期待できる奉仕活動に焦点を絞る・世界的な目標と地元の目標の両方を果たすためのプログラムを提供する・意思決定権を更に地区に移行することによってロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高める・ロータリー財団の活動に対する理解を深めロータリーの公共イメージを高めるとなっています。

時代とともに世界も変化し、それに伴ってロータリー財団も変化していかなければならないと思いますが、1917年にアーチ・クランフが言った「世界で良いことをしよう」という精神はいつまでも受け継がれていってほしいものです。



今日から次年度の会長の立候補を受け付けます。その意思のある方は来週の例会までに事務局に書面で提出してください。

### 幹事報告 東海林 勉 幹事④

- 11月21日(水)、2クラブ合同例会のバス運行について回覧文書をご確認下さい。帰路經由地付近で降車希望の方は申出ください。
- 遠軽警察署より「遠軽地区被害者ネットワーク総会」開催案内。  
日時 2018年11月28日(水) 13:30～14:30  
場所 遠軽警察署 2階 大会議室
- 2019年6月1日～4日、ドイツ・ハンブルグで開催：2019国際ロータリー年次大会の参加旅行募集案内。

【名前の後の○数字は写真の番号】

本日のプログラム 会員卓話 “銃弾・ダイナマイト・花火”

石井 朋子 君②

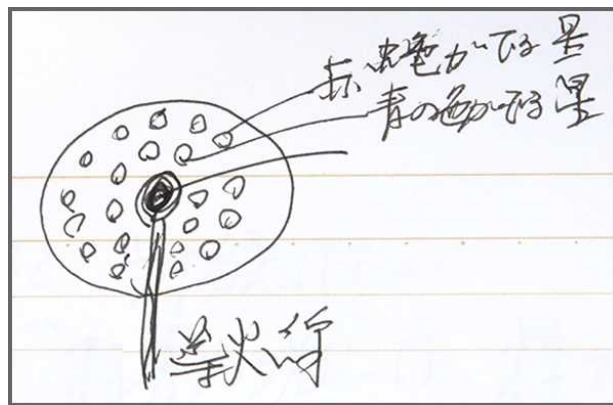
ロータリーに入会して7ヶ月が経過し、いずれ会員卓話が来るとは思っていたのですが、思ったよりも早く、今日お話しすることとなりました。

私の現在の仕事についてお話ししたいと思います。私は現在火薬を扱う仕事をしています。昭和7年に祖父が旭川にありました山崎火薬銃砲店から遠軽の大通南2丁目に店を開きました。その後北見へもう1店舗構えることとなり、現在に至っています。

仕事の一つは銃(猟銃)の管理、弾の販売です。昔は鹿、熊、うさぎなど食するために狩猟していました。現在は、鹿は食肉としては知床でジビエとして販売されています。カロリーも少なくヘルシーでありますので、道外へと広く送っているようです。道内では猟友会(社団法人)との協力で、鹿の数を調整するため駆除しています。遠軽地方では100名程の方が猟銃を持っておられます。

二つ目はダイナマイト販売。ダイナマイトを使っている採石、土木工事などがありますが、以前は採石はほとんどがダイナマイトが使われ、土木工事等でも使われました。現在は機械化が進みかなり量は減りましたがゼロというわけではありません。

三つ目が花火です。花火は 鎌倉時代に中国から輸入され始まったと言われていています。盛んになったのは徳川家康の時代からだそうですが、当時は鍵屋、玉屋という2つの花火店が江戸時代の花火を栄えさせており、現在の円形の花火の形を作ったのは鍵屋の三代目の方で、今その円形の花火が世界に広まっています。日本が本当に現代の花火を作ったわけです。当時は木炭、鉄粉、水銀が主に色を作る材料でしたが、明治に入って金属化合物が輸入されてから、赤い色はストロンチウム、緑はバリウム、青は銅、黄はナトリウムと色が多くできるようになってきました。花火は現在も尺貫法で、1号玉から40号玉まであり、1号につき1寸(約3cm)の内径があります。10号で1尺でここから尺玉となります。20号で2尺、30号で三尺、40号で4尺。花火玉の中は、星と呼んでいる色を出すための玉が入っています。(写真②で左手に持っている半玉とイラスト参照。)



数年前まで手作業でこの星を作っていたのですが、星掛器と称している星を作る機械を作ったので、手作業からやっと解放されました。日本で今まで一番大きなサイズの花火は、新潟県片貝花火まつりで4尺玉が完全な円で上がり、1985年のギネスにも掲載されました。世界においては2018年1月1日ハッピーニューイヤーとしてアラブ首長国連邦の王様がアメリカのグレース社に依頼した4尺半の花火です。地下4m地上高7mの筒で上げたものです。これが現在ギネスにのる最大の花火です。花火は火薬によって打ち上げるものですから危険であることは間違いありません。それゆえ保守距離(地域により差がある)を守ることが大切です。

私は仕事というだけでなく、花火は日本の風物詩であり日本の文化と思っています。能や歌舞伎、お茶お花などと同じく受け継いでいくべきものです。現在人口減の中、観光客を集めるためには様々な方法があります。食べること、見ること、体験すること等。イベントの内容を考える時は大変苦労しています。人々が、町の人が楽しんでもらえる花火を今後も努力し残していきたいと思えます。今年の遠軽町の花火も皆様のご参加がありました。来年に向けてさらにお力添えをお願いし会員卓話とさせていただきます。

参考：年間に道内で170回の花火大会(1,000発以上のイベント)があり、17社の花火関連会社があります。

ニコニコBOX 張江 紀代美 親睦活動委員 2018-19年度合計 219,400円

☆閉会点鐘：遠藤 利秀 会長 ☆今月会報担当：本間 克明 委員

2018-19\_18th-03

Table with columns: 出席報告, 例会日, 会員数, 出席計算会員数, 出席者数, メイクアップ, 出席率, 無断欠席, 編集・発行:メディア委員会, 委員長:加藤幸徳, 副委員長:石井定男, 委員:佐久間英昭, 本間克明, 西清治, 竹内徳治, 東海林勉

2018-2019年度 国際ロータリー

会長：バリー・ラシン(イーストナッソーRC) 第2500地区ガバナー 細川吉博(帯広北RC) 第4分区分ガバナー補佐 山市喜雅(紋別港RC)

遠軽ロータリークラブ www.engaru-rc.com

会長：遠藤利秀 副会長：金谷正一 会長エレクト：渡辺 勉 幹事：東海林勉 会計：島田光隆 SAA：上田 稔 直前会長：成田弘明 事務局員：佐藤郁子 ◇1959年9月12日創立/1959年11月7日認証

【事務局】〒099-0415 北海道紋別郡遠軽町岩見通南2丁目 遠軽商工会議所内 Tel 0158-42-5201 Fax 42-5134 E-mail: info@engaru-rc.com 【例会場/日】北海道紋別郡遠軽町大通北1丁目 ホテルサンシャイン Tel 0158-42-1151 毎週木曜日12:30~13:30 \*第3木曜日は夜間例会 18:00~(19:00)

